

科目コード	記号	科 目 名	
8551	AO02	工学特論 II: Engineering Special Lecture II	
教 員 名		専攻科担当教員	
学年	単位・時間	必修・選択	授業形態
1PD	2・100分	必修	講義・後期
授 業 概 要	これからの技術者には、工学的な観点から実務問題を理解でき、それに対応できる能力が要求される。さらに専門分野だけでなく、他分野と融合・複合した知識や技術が求められている。ここでは融合・複合領域の技術者を育てることを目指し、学内外から各分野(機械工学、電気工学、制御情報工学、物質工学、その他の分野)の講師を招き、研究や最近の話題について講義を行う。また、特許やその他情勢に応じたテーマで講義を行う。講義毎に指示された内容のレポートを提出する。		
	到達目標	評価方法	配分
(1)自分の専門分野だけでなく、他分野についても、技術の現状や展望および実務上の問題点や課題について理解でき、説明できる。	レポートによって評価する。	80%	
(2)特許について意義や必要性などが理解でき、説明できる。また、既存の特許について調べることができる。	レポートによって評価する。	20%	
学習・教育目標	(C)②④	JABEE基準1(1)	(d)-(2)-a), (d)-(2)-d)
後 期 内 容			
授 業 計 画	1. スケジュール 第1回～第14回: 以下に示す各分野のテーマについて講義を行う。 第15回 :まとめと授業アンケートを行う。		
	分野	テーマ	
	機械工学	・アクチュエータについて(岡)(1回)	
		・低公害車について(城戸)(1回)	
	電気工学	・計算機ナノマテリアルデザインの基礎と研究(高木)(1回)	
		・省エネルギーに貢献するパワーエレクトロニクス技術(西田)(1回)	
	制御情報工学	・企業における研究開発について(光ファイルシステム)(勝田)(2回)	
	物質工学	・水和性タンパク質について(根来)(1回)	
		・吸着平衡の推算について(福地)(1回)	
	その他	・生き物の形作り: 生物の発生に関わる細胞間シグナル伝達系の機能解析(天内)(1回)	
・宇宙開発における電磁気的な宇宙環境の影響について(北村)(1回)			
・ハードウェアとソフトウェアを協調開発するシステムレベル開発(柳沢)(1回)			
特許	特許セミナー(2回集中)		
関連科目			
教科書			
参考書			
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。		
備考			